

平成24年度学内版 GP 成果報告書

取組名	自然環境診断マイスター プログラム
実施組織	大学院理工学研究科
実施責任者	島野光司
取組の目標	大学院教育を受ける中で、 ・自分の専門分野だけでなく、関連他分野からの物の見方、考え方を身につけ、これによって自分の分野の研究を発展させるきっかけを作る。 ・信州の自然、知識の特色を生かした実習・学習により、信州の自然環境の特徴を知る。
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	1. 参加学生は、地形・地質、気象・水質、湖沼、植物、動物の、自然環境を知る上で必要な5分野の講義・実習をうけた。 2. それぞれの実習では、南アルプス、諏訪湖、木崎湖、松本平、菅平高原といった、信州を代表する自然環境を訪れ、それぞれの分野の基礎実習を収めた。 3. 夜間自動撮影による野生撮影の観察実習では、これまで不足していた自動撮影装置(カメラ)の補充をおこなった。 4. 他大学(北海道大学)で行われている「博物館マイスター」事業との連携で、担当教員らと交流をはかり、そこで得た知見を次年度以降の環境マイスター事業に活かすこととなった。
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	前年度の大学院生たちに比べると、経年事業による新鮮さの低下から、参加者は多くなかったが、参加した学生らはそれまで経験したことのない実験、観察に有意義に取り組んだ。 もう一つの問題は、教員らが準備できる日程と、大学院生の日程の合わなさから、参加を希望しながらかなわなかった例があったと聞く。これに対しては、教員側の用意できる日程をこれまでより早い段階で学生に提示し、教員、学生双方が余裕を持って実習・講義に望める体制を築くよう対処したい。